

# 景気動向調査結果

－ 令和2年1月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和元年10月～令和元年12月

2 調査対象企業数 H27～

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 97% (97社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしていますが、令和2年1月分は97社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

# 令和2年1月の景気動向

## 1 総論

売上は宿泊・飲食業を除く全ての業種で大きな減少となりました。卸・小売業や建設業、サービス業では消費増税の影響、製造業では米中貿易摩擦の影響や自然災害による受注減が大きく響いています。

コスト面では全体的に徐々に落ち着いてきていますが、仕入価格では食材や石油関連資材を中心に様々な品目で上昇が感じられています。人件費やその他経費についても最低賃金の引上げや燃料費上昇等の影響がみられます。

経営課題では引き続き「人手不足・技術者不足」が最も多く、雇用面や育成面での課題があげられています。

2020年を迎えどのような年となるかの見通しを聞いたところ、現状とあまり変わらないと答えた企業が半数以上で、好転を見込む企業は約1割でしたが、建設業やサービス業では約2割の「好転」回答がありました。また商工会議所に求める事では「情報提供」が最も多くあげられました。

## 2 売上

全業種ではマイナス 31.9%と大きく減少しました。この結果は、平成 24 年 10 月調査のマイナス 36.9%に次ぐマイナス数値となっています。

業種別で見ると、宿泊・飲食業を除く全ての業種で大きく減少しています。要因として、卸・小売業では人口減少による消費減や消費増税の影響があがっています。建設業では、消費増税の影響もみられ、増加と減少の事業所が同数となっています。製造業では前回調査からさらに減少し、マイナス 64.7%でした。引き続き米中貿易摩擦や、自然災害の影響による受注減少があげられています。水引や食品の伝統産業においても同様に大幅な減少となっています。サービス業でも前回調査からマイナスに転じ、消費増税や台風の影響がありますが、製造業の不況に伴っての売上減少のコメントがあがっています。唯一増加した宿泊・飲食業は、台風の影響もあげられていますが、忘年会の好調や新規顧客の増加によって増加と減少の事業所が同数になっています。

### 【主なコメント】

- ・駆け込み需要の反動若干ありー卸・小売
- ・人口減、飲酒量減少による売上減少ー卸・小売
- ・オリンピック開催に期待ー卸・小売
- ・消費増税の影響による売上減少ー卸・小売、製造
- ・マーケットの縮小により減少ー卸・小売
- ・道ができてこないために建設業界全体的に様子見の状態ー建設
- ・全体的に、特に食品業界で仕事の動きが悪いー建設
- ・消費税の駆け込み終了後も変わらず受注ありー建設
- ・増税前の駆け込みの影響により減少ー建設、製造
- ・米中貿易摩擦の影響により受注が減少しているー製造

- ・景気不透明感により、国内設備投資が先送りされている－製造
- ・昨年は特需があったために相対的に下落－製造
- ・航空機部品受注ストップにより大きな減産－製造
- ・中国関係の受注止まっているので1月分の仕事をしていた－製造
- ・台風等の自然災害により青果物の出荷が減少－製造
- ・災害の影響、雪がなくレジャー関係で減少－製造
- ・受注減底打ちしていない。6月までは減少続く－製造
- ・車関係受注減少－製造
- ・台風19号による予約キャンセルがあり減少－宿泊・飲食
- ・忘年会好調により売上増加－宿泊・飲食
- ・新規顧客増により売上増加－宿泊・飲食
- ・市内の飲食店は全体的に落ち込んでいる－宿泊・飲食
- ・観光客の増加で若干の売上増加－宿泊・飲食
- ・景況の悪化、消費増税により売上減少－サービス
- ・製造業等の若者の残業減少－サービス
- ・営業社員の増加で成績アップが予想される－サービス
- ・年末年始の稼働日数の減少による売上減少が予想される－サービス
- ・営業努力による取引企業増加－サービス
- ・製造業の伸び悩みによる受注の低下－サービス
- ・10月の台風による運休およびキャンセル－サービス

### 3 コスト状況

原材料は上昇回答が44%と少しずつ落ち着いてきていますが、未だ食材や石油関連資材等の様々な品目での上昇コメントがあがっています。

人件費も上昇回答が30%と、前回調査からは減少していますが、人手不足や最低賃金の上昇に合わせた賃金単価の上昇があげられています。

下請単価については物流経費の上昇や消費増税により上昇回答が増えています。

その他経費については前回調査とほぼ同様の結果となっていますが、設備の更新や故障による修繕等の上昇コメントが多数ありました。

#### 【主なコメント】

##### (原材料)

- ・紙の上昇－卸・小売
- ・メーカーの値上げにより利益減少－卸・小売
- ・日用品、紙、文具等、あらゆるものが上昇－卸・小売
- ・仕入先からの値上げ－建設
- ・コンクリート、骨材使用頻度増により上昇－建設
- ・石油関連の資材が高騰－建設
- ・外注工賃の上昇－建設
- ・石の上昇－建設
- ・原油高による上昇－建設
- ・容器包装等の上昇－製造
- ・ダンボール包材の値上げ－製造
- ・国産米、麴価格の上昇－製造
- ・食材の高騰－宿泊・飲食
- ・野菜の自家栽培により低下－宿泊・飲食
- ・鮮魚等の上昇－宿泊・飲食
- ・消費増税による上昇－宿泊・飲食、サービス

・燃料代の上昇－サービス

#### (人件費)

- ・人員増により上昇－卸・小売、製造、サービス
- ・最低賃金の上昇により賃金単価上昇－卸・小売、宿泊・飲食、サービス
- ・手当での増加により上昇－建設
- ・契約社員増により上昇－建設
- ・賃金上げないと人が来ない－建設
- ・人件費を上げざるを得ない－製造
- ・残業減少により低下－製造
- ・時間外労働の増加－製造
- ・社員がパートになり減少－製造
- ・年末の受注が多くなったためにパート雇用－製造
- ・消費税増税により上昇－宿泊・飲食、サービス
- ・働き方改革の考え方と現場の状況の実態に差異がある－サービス
- ・人員減による低下－宿泊・飲食、サービス
- ・採用単価の高騰－宿泊・飲食
- ・社会保険料の上昇もあり全体的に上昇－サービス
- ・人手不足による時給高騰－サービス
- ・ベースアップによる上昇－建設、宿泊・飲食、サービス

#### (下請け単価)

- ・値上げ要請あり－製造
- ・消費税、運賃関係の値上げ－製造

#### (その他経費)

- ・設備の故障による更新により上昇－卸・小売
- ・物流費の増加－卸・小売、建設、製造
- ・車両等の修繕費の上昇－建設
- ・産廃処理料の上昇－建設
- ・車両の入れ替えによる上昇－建設
- ・固定費抑制中につき低下－製造
- ・機械の老朽化に伴う修繕費の増加－製造
- ・工場設備投資により上昇－製造
- ・消費増税による上昇－宿泊・飲食
- ・店舗改装により上昇－宿泊・飲食
- ・冷暖房機器の導入により上昇－宿泊・飲食
- ・修繕、備品の交換により上昇－宿泊・飲食
- ・燃料代の上昇－宿泊・飲食
- ・海外研修の増加による上昇－サービス
- ・流通コストは落ち着いてきた－サービス
- ・広告宣伝費の上昇－サービス
- ・原油高の影響により－サービス

## 4 資金繰り

前回調査と比較して、「良好」が微増し、「引続き苦しい」が微減しました。「最近改善」と回答した事業所は宿泊・飲食業の割合が多く、売上のグラフにある様に、売上増加による改善が伺えます。

制度資金の利用検討は 13 件あり、うち 9 件は設備資金でした。

【主なコメント】

・従業員増員分のマシン増加－製造

## 5 経営課題

継続して「人手不足・技術者不足」が最も多い結果となりましたが、回答数は前回調査と比較して減少しています。コメントからは、求人を出しても集まらなかったり、雇用しても続かなかったりと、従業員が定着しない課題や、採用に関わる経費の上昇があがっています。続いて「顧客の減少」、「店舗や設備の老朽化」が続いています。前回調査で 23 件の回答数があった「燃料・配送コスト上昇」は 14 件と減少しています。

【主なコメント】

- ・クレジット導入による利用増で資金繰りが厳しい－卸・小売
- ・増税後、得意先の売上苦戦－卸・小売
- ・コスト競争になっている－製造
- ・若い人材は入れたいが仕事が薄いので求人を出せない－製造
- ・最低賃金上昇分を細かい部分で切り詰めている－製造
- ・従業員の高齢化－製造
- ・事業承継－製造
- ・競合の激化により価格競争に巻き込まれる－製造
- ・原価率の悪化－宿泊・飲食
- ・求人集まらない－宿泊・飲食
- ・人手不足により繁忙期対応できず、断った予約あり－宿泊・飲食
- ・営業力の低下－サービス
- ・従業員が入っても続かない－サービス
- ・昨年 1 名退職し、技術者不足－サービス
- ・一部台風による水害の影響あり－サービス
- ・人材確保に関する経費上昇－サービス

## 6 2020 年の景気見通し、重点事項について

今年 1 年間の自社の経営状況については、「現状とあまり変わらない」と予想する事業所が半数以上と最も多くなりました。

業種別では「好転が見込まれる」と予想する事業所は建設業とサービス業が最も多く、宿泊・飲食業が最も少ない結果となりました。

重点をおいて取り組む事項としては、昨年と同様に「人材育成」が 38 件と最も多くなり、回答数も増加しています。慢性的な人材不足が影響し、各企業が重要視していることが伺えます。次いで「販路拡大」、「販売促進」、「営業強化」の回答が上位にあがっており、直接の売上増加に繋がる活動に重点が置かれています。昨年は上位にあった「設備投資」は回答数が減少しています。

商工会議所へ求める支援としては「情報提供」が突出して多く、続いて「補助金申請」、「セミナー開催」となっています。こちらは昨年調査と同様の結果となっています。

**【主なコメント】**

**(2020年の貴社の経営状況)**

- ・オリンピック開催による一時的な好転見込むー卸・小売
- ・人口減少、新築件数減少、ハウスメーカーへ流れているー建設
- ・消費量の低下による悪化ー製造

**(1年間の重点事項)**

- ・法律(働き方改革)への対応ー卸・小売
- ・BCP策定してあるが本当に動けるのかどうかー製造
- ・AI、IOTの活用も重要ー製造
- ・組織改革ー製造
- ・他社との差別化を図る新商品の開発ー製造

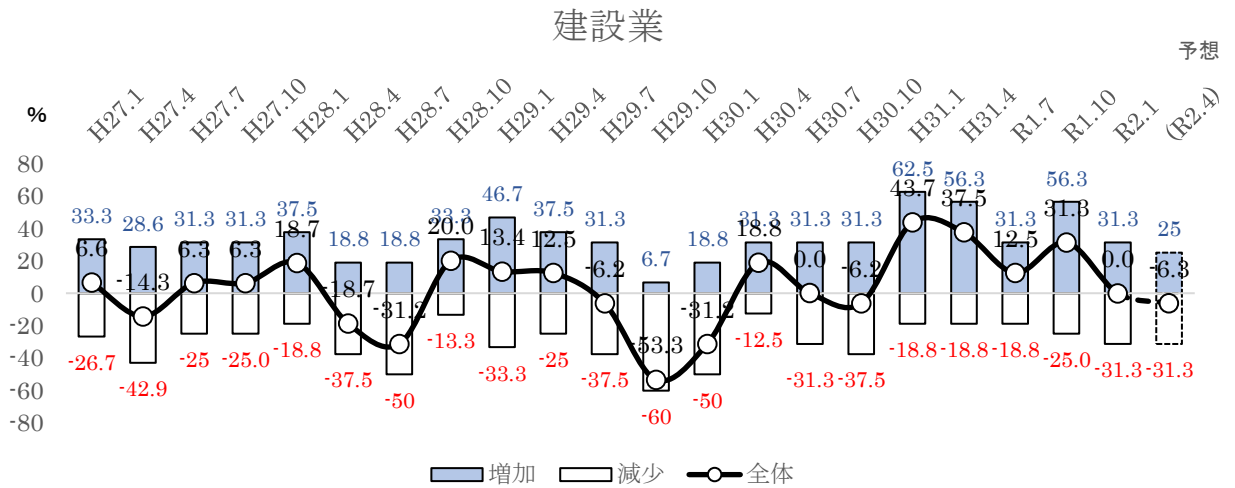
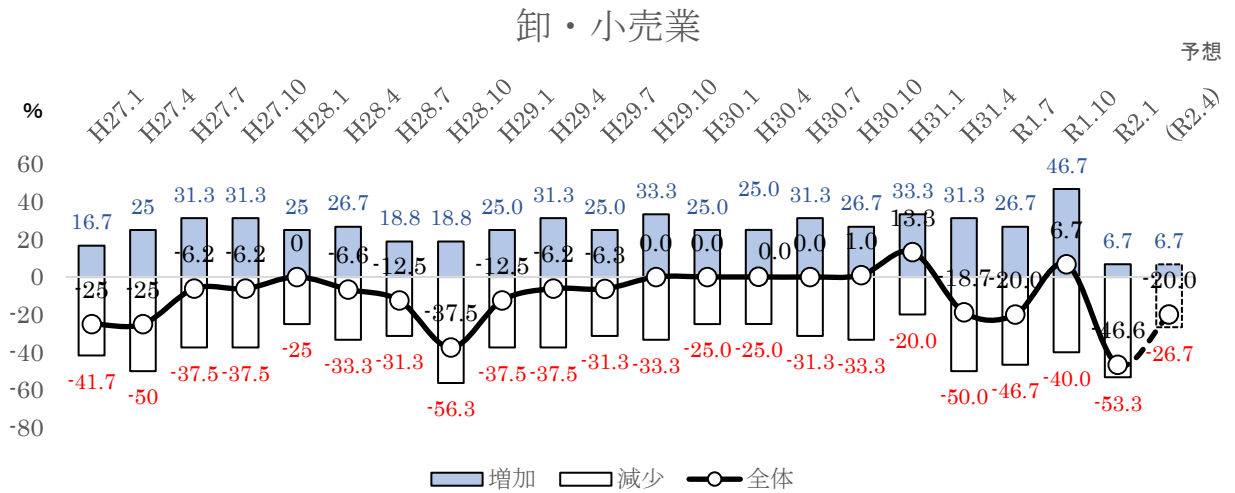
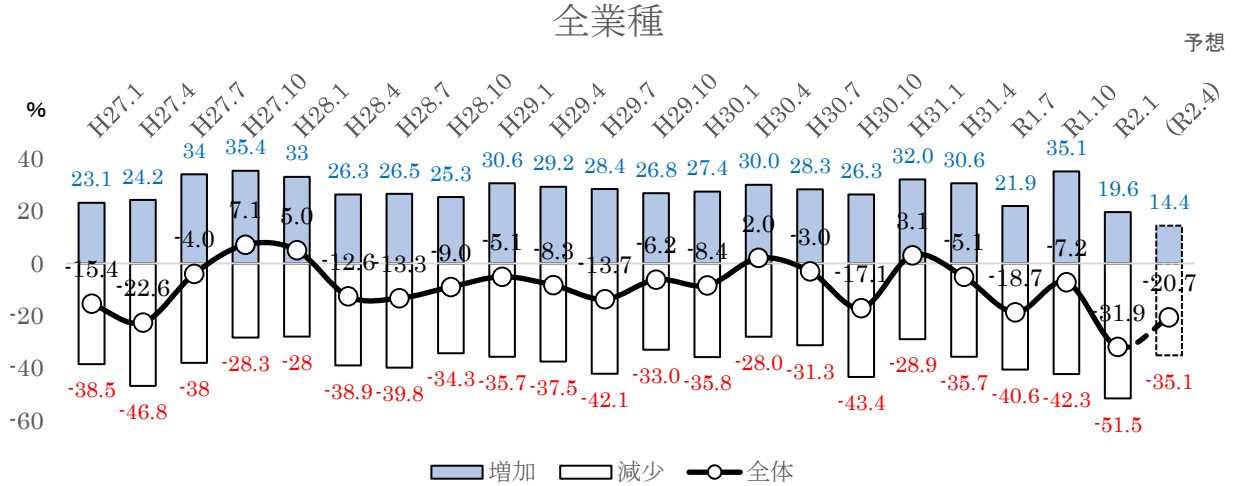
**(商工会議所に求めること)**

- ・子どもに伝統文化を伝え、地場産業を知ってもらい、発展するような活動ー製造
- ・相続税対策ー製造
- ・現役の講師のセミナー希望ー宿泊・飲食

# 景気動向調査集計結果

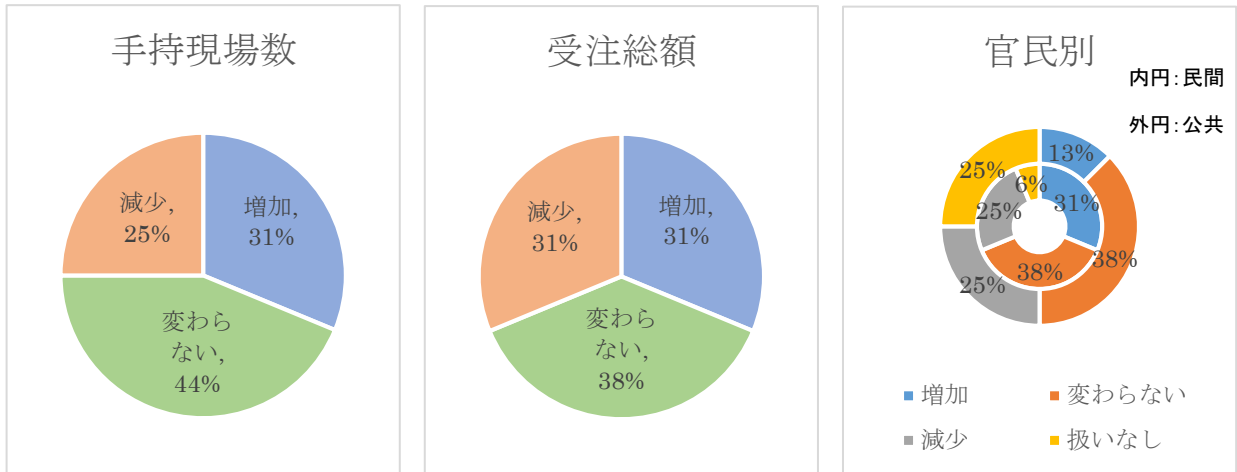
## I 売上・受注高

■ 最近3か月、前年同期に比べて及び今後3か月の予想

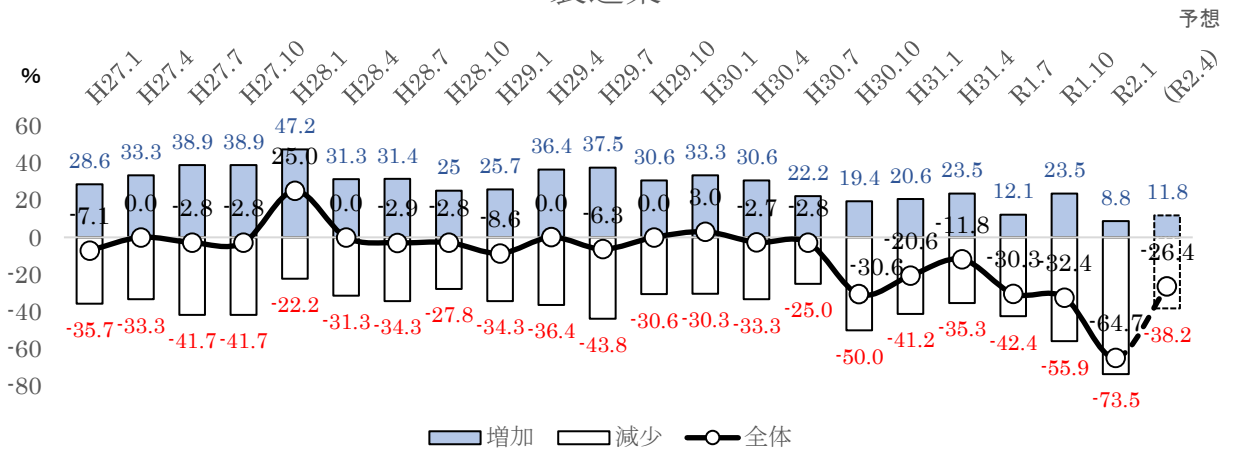




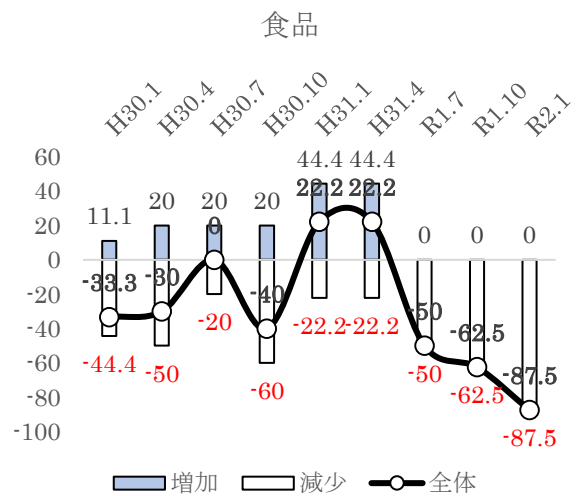
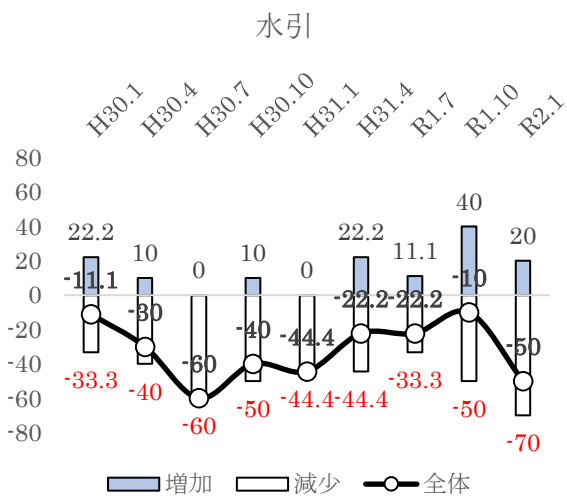
(建設業)



製造業

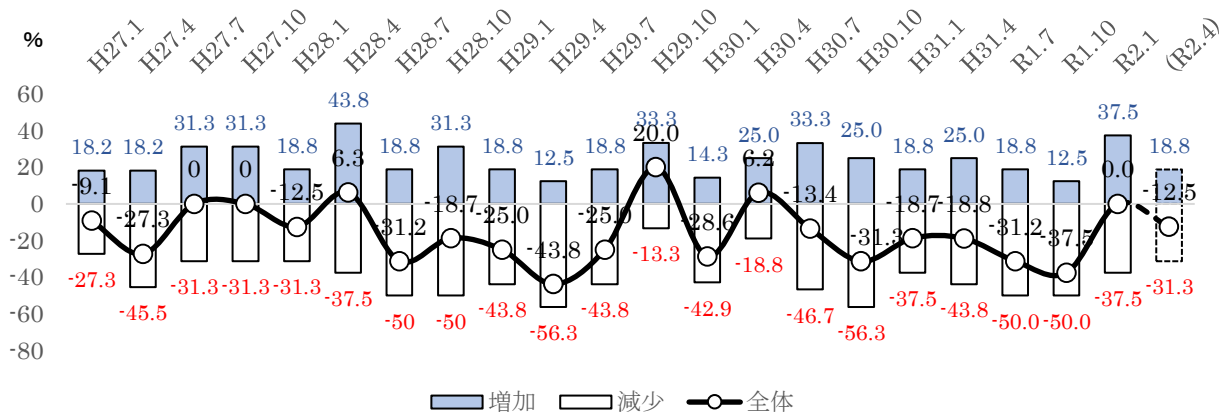


(伝統産業)



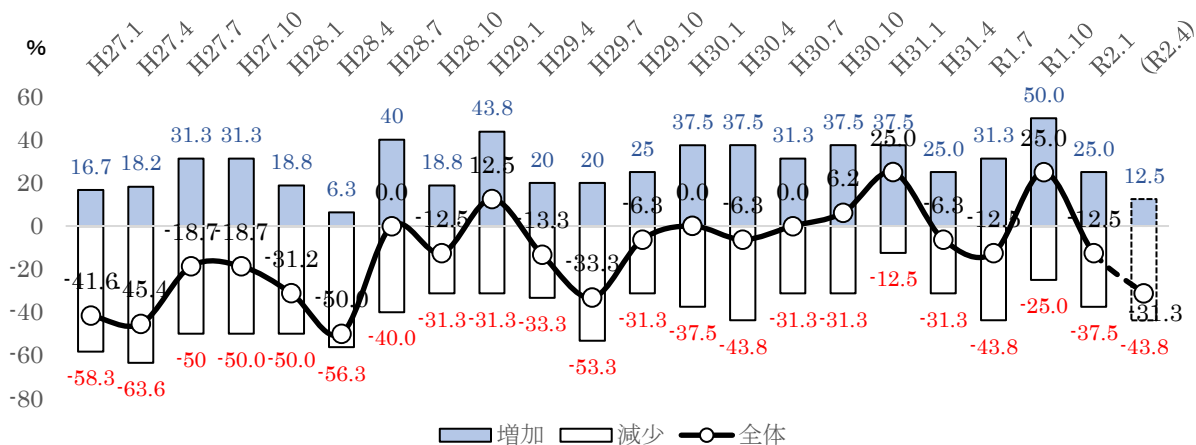
### 宿泊・飲食業

予想

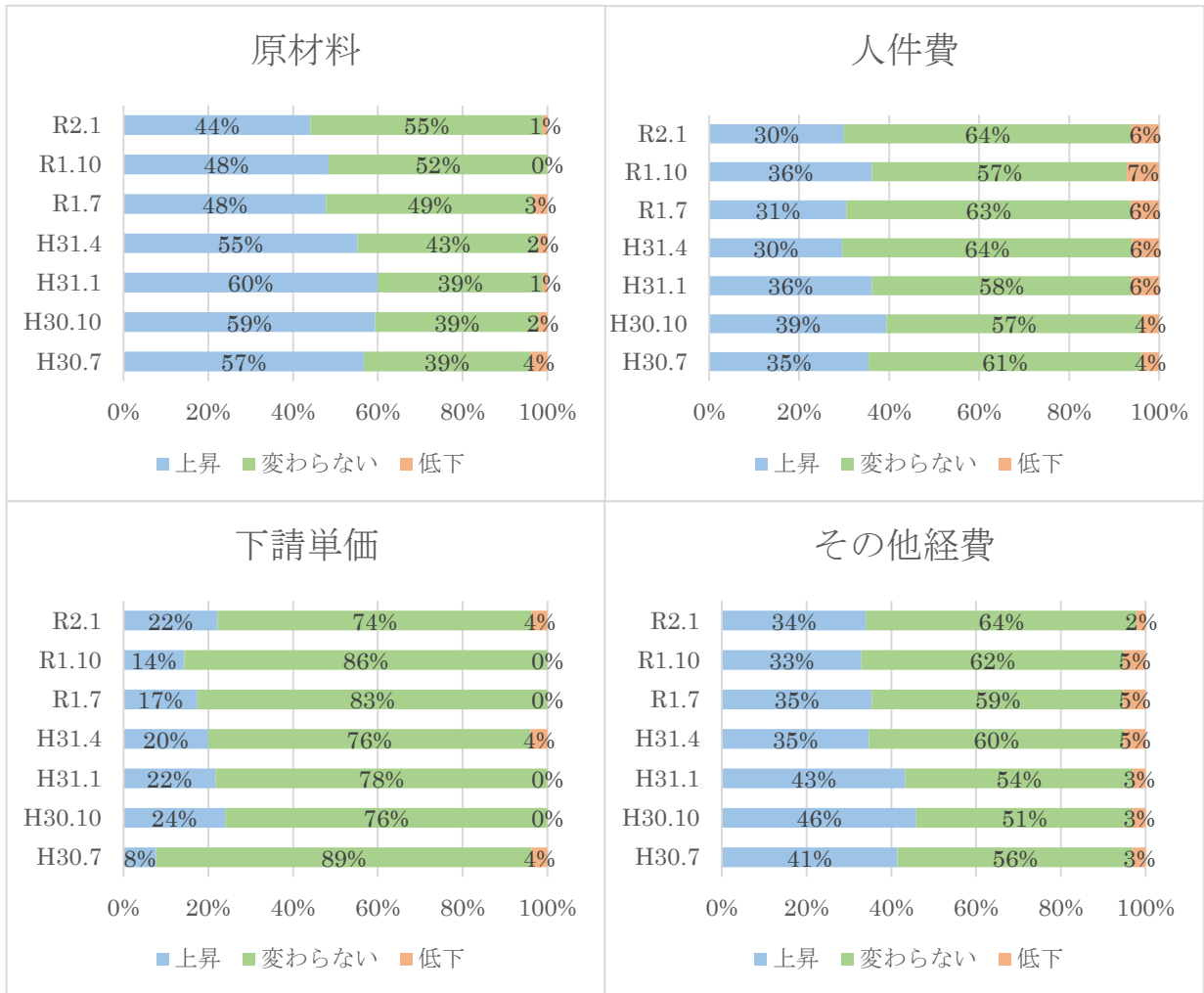


### サービス業

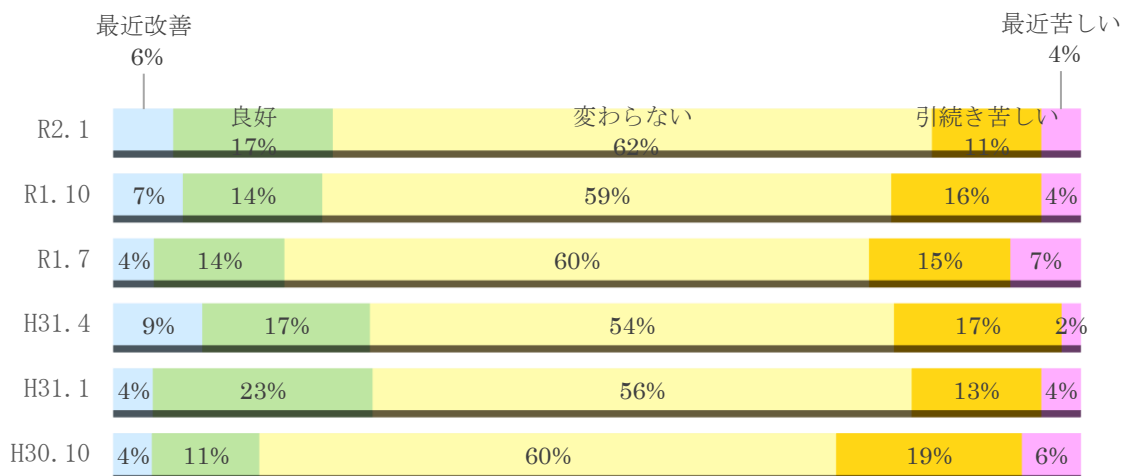
予想



## Ⅱ コストの状況 - 昨年同期に比べて - (全業種)

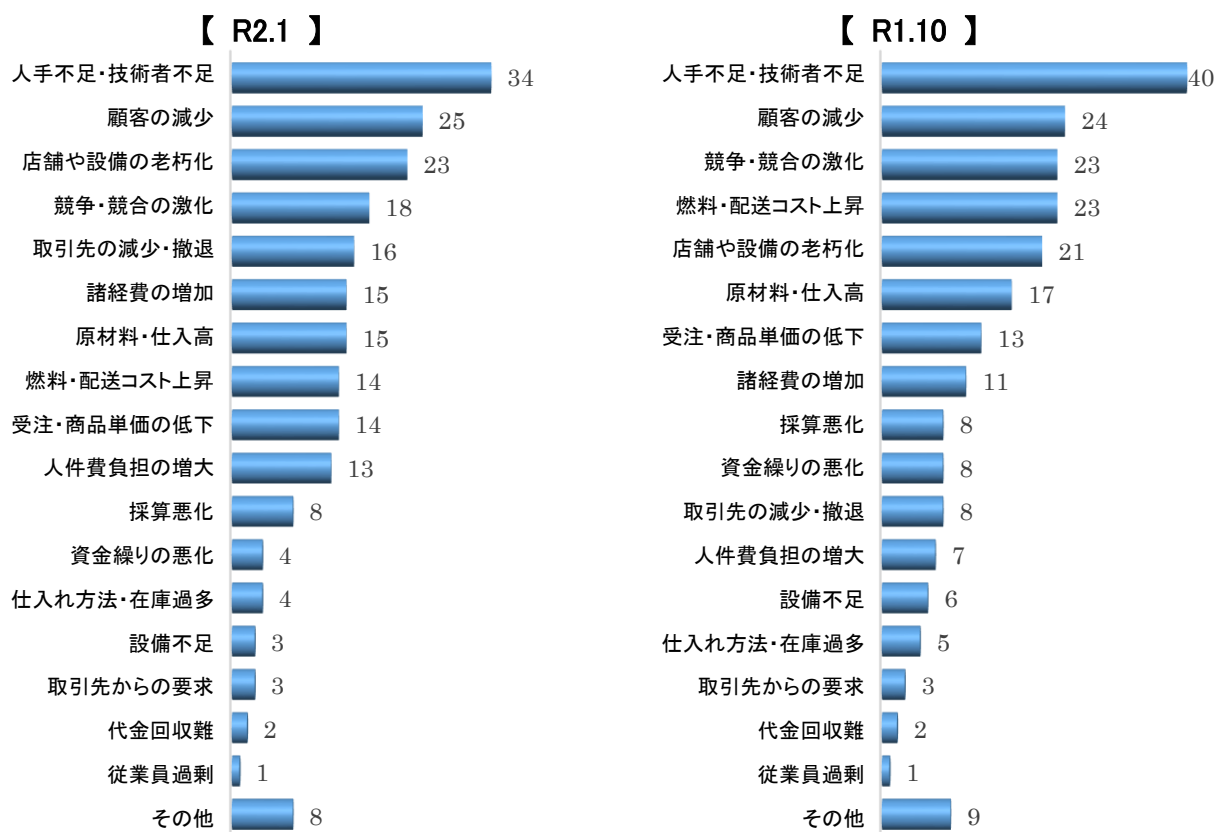


## Ⅲ 資金繰りの状況 - 昨年同期と比べて - (全業種)

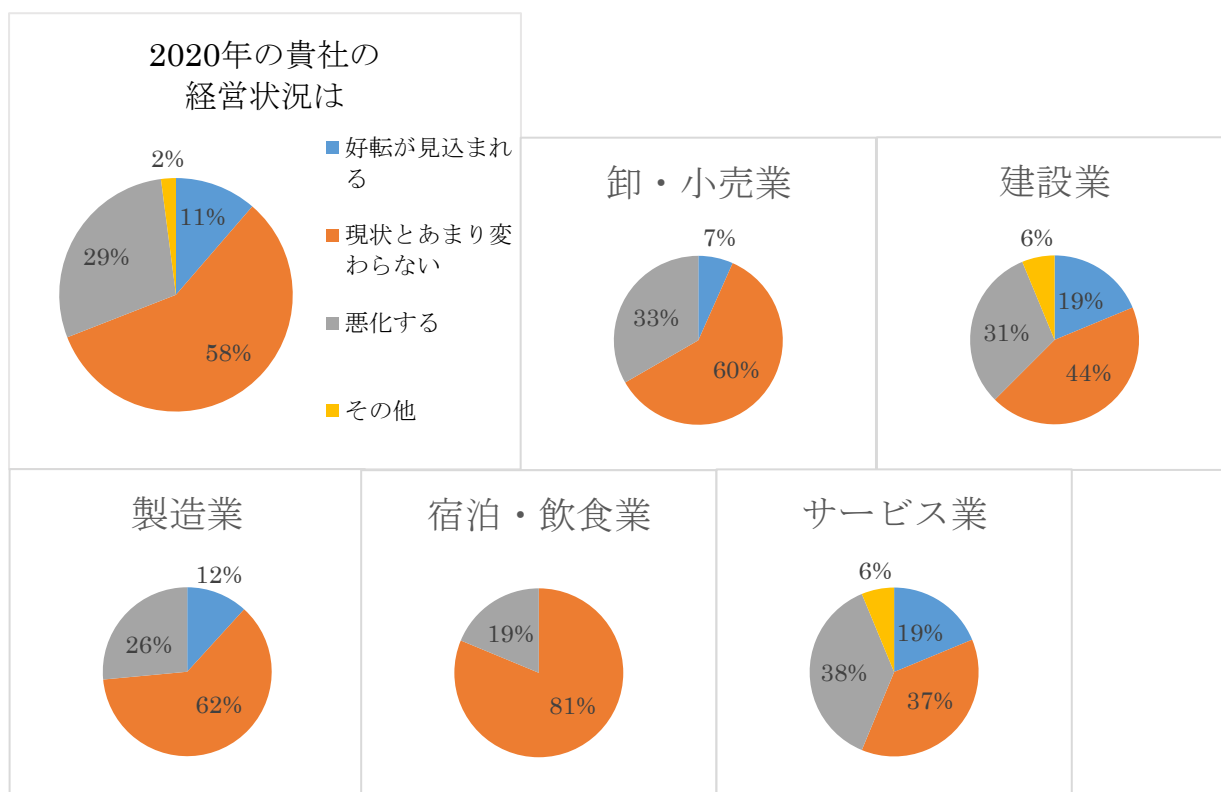


#### IV 経営上の現在の課題(全業種)

※3つまでの複数回答

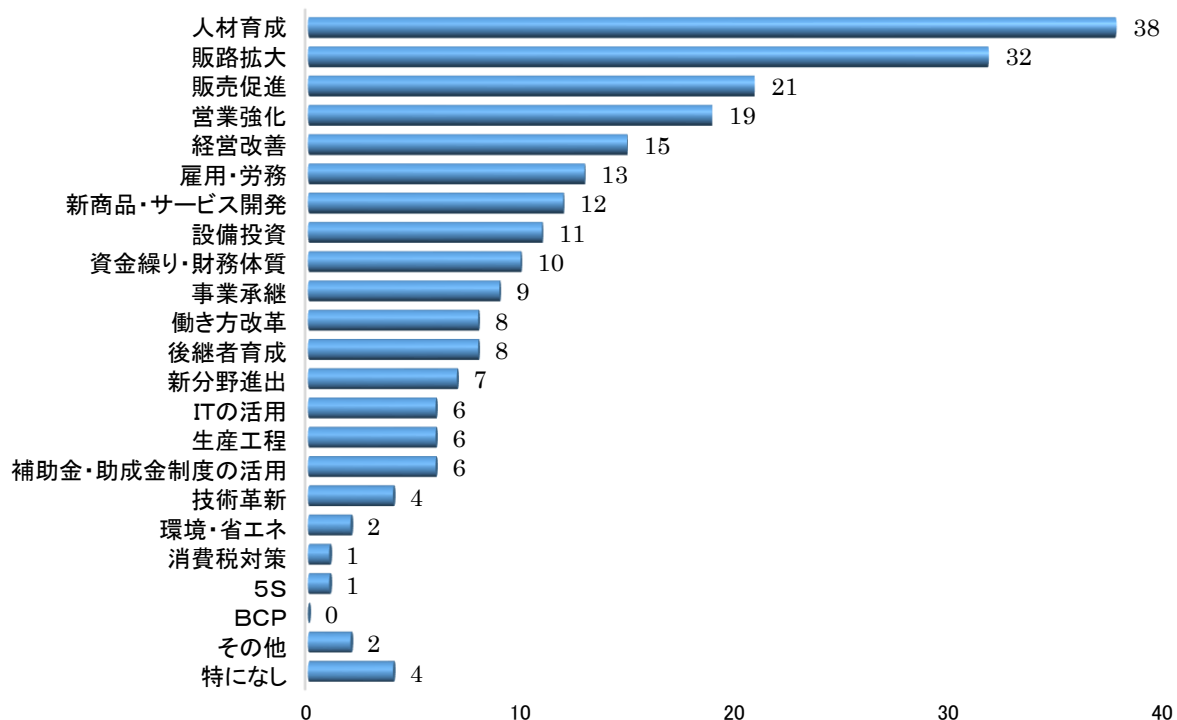


#### V 2020年の景気見通し、重点事項



## 1年間、最も重点をおいて取り組む事項

※3つまでの複数回答



## 商工会議所に求めること

※複数回答

